

# モード Mode は語る

中野 香織

町中でも大学のキャンパスでも、山歩きに出かけるようなアウトドアスタイルで過ごしている人をちらほら見かける。ウインドブレーカー、救命ベスト風のジャケット、パーカ、いかついサンダル、ナイロンのリュック。「ノースフェイス」や「パタゴニア」など、アウトドア用品を扱うブランドのロゴを見かけることも増えた。

このトレンドはどうやらニューヨークではさらに目につくようで、このたび、「ニューヨークマガジン」が新語を作って命名した。「ゴープコア」である。ゴープ (Gorp) とは Good Old Raisins and Peanuts の頭文字をとったことばで、

## ゴープコア

# 場違いなほど超実用

ナッツやフルーツなどをミックスしたスナックのこと。少量で栄養価が高いためハイキングの必需品とされる。なるほどサバイバル重視のスタイルを表現するのに、栄養価重視のアウトドア必携スナックを引き合いに出すのは気が利いている。ゴープと発音するとどこか耳にやばに響くのも、目からの印象と呼応する。

また、数年前にこのメディアが流行させた造語「ノームコア」(筋金入りの普通)への連想も働く。アンチ・ファッションとしてのノームコアがさらに進化して、かっこよく見せようなどという意図とはまったく無縁の、超実用アンチ・ファッションのゴープコアになったという



2017年春夏のジバンシーもアウトドアを意識している

見方もできる。スタイルアイコンは、ラッパーのエイサップ・ロッキー。ファッションウィークのさなかにオレンジ色のフリース、ナイロンのウエストバッグという装いで登場して話題をまいた。

そういえば2017年春夏シーズンは、プラダ、ランバン、ジバンシーなどのファッションブランドも、アウトドア活動を意識したアイテムを提案している。ただ、「キャンピング・シック」と表現されるそのようなモードとは異なり、町で見られるゴープコアはその場違い感ゆえに心をざわつかせる。自然災害やテロや戦争の脅威が他人事ではなくなっている現代において、「備えよ常に」というメッセージにも見えてしまうからかもしれない。場違いは自分のほう、ということにいつだってなりかねないことを思う。

(服飾史家)